

シャトルクローザーコレクトWアウトセット

品番：NHT-1058



詳しくは
こちらから！

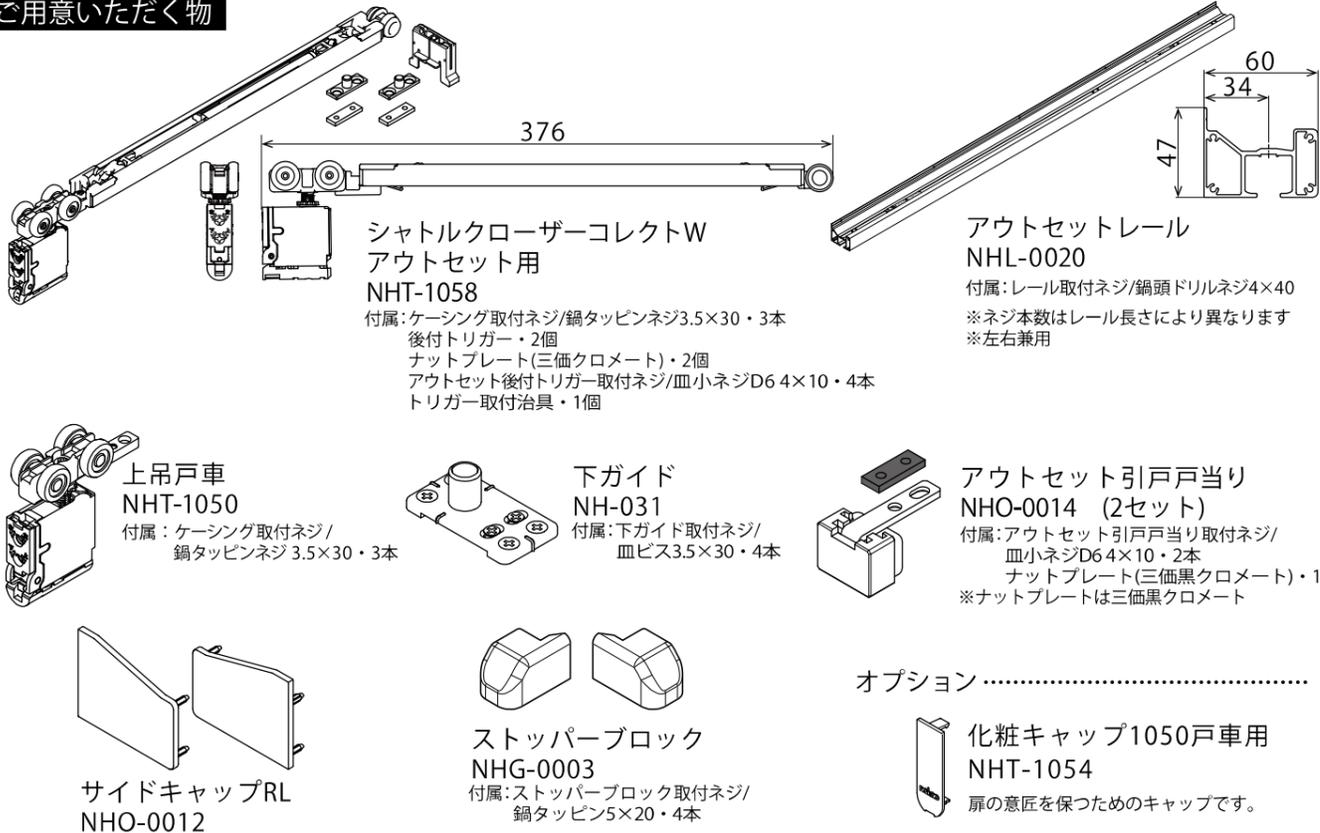
仕様・使用条件

引戸扉重量：10kg以上 40kg以下/1枚
 引戸扉幅：460mm以上で上記扉重量範囲内/1枚
 引戸扉厚さ：24mm以上

作動距離：約60mm
 使用温度範囲：5℃～40℃

※クローズ速度調整・引込力の調整はできません
 ※本装置には扉が停止する時の衝突音や跳ね返りを抑える機能はありません

ご用意いただく物



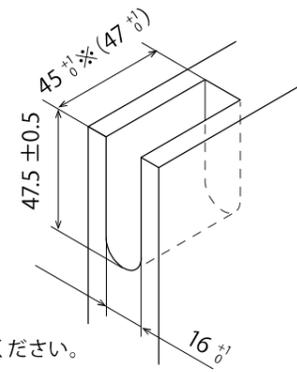
注意事項

- 扉を勢いよく操作すると正常に作動しません。扉、周辺部材、製品の破損の原因となり、扉の開閉が出来なくなります。扉は通常の引戸と同じように操作してください。
- 一般住宅の室内専用製品です。屋外や不特定多数の使用が考えられる場所・施設には使用しないでください。
- 施工後は必ず作動チェックを行ってください。
- レール加工、取り付け時の切粉、木くず等がレール滑走面や製品内部に付着すると、異音の発生や引込動作不良を起こします。施工後も含めてこまめにレール内を清掃してください。
- 本製品は扉の閉め際から閉じるまでをアシストする補助装置です。指詰めを防止する等の安全を保証する装置ではありません。
- 扉の重量・使用環境により減速力・引込速度が変動します。
- 扉の擦れ等の不具合が有る場合は、【7扉の調整】に応じ再度調整を行ってください。そのまま使用を続けると扉、周辺部材、本装置の破損等の原因になります。
- 引込作動中に無理に扉を閉めないでください。
- 仕様外、誤操作、施工不良、施工後の周辺部材の歪み、製品の分解・改造等による装置の破損、故障に対し弊社では一切の責任を負いかねます。必ず使用条件をお守りください。

納まり寸法

○扉の加工寸法

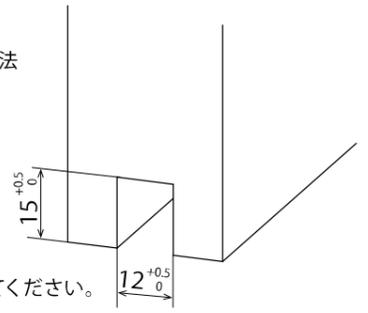
上吊戸車取付用U字溝加工寸法



掘り込み加工は、必ず扉の厚みの中心基準で行ってください。

※化粧キャップを取り付ける場合の掘込奥行きは47⁺¹₀mmとなります。

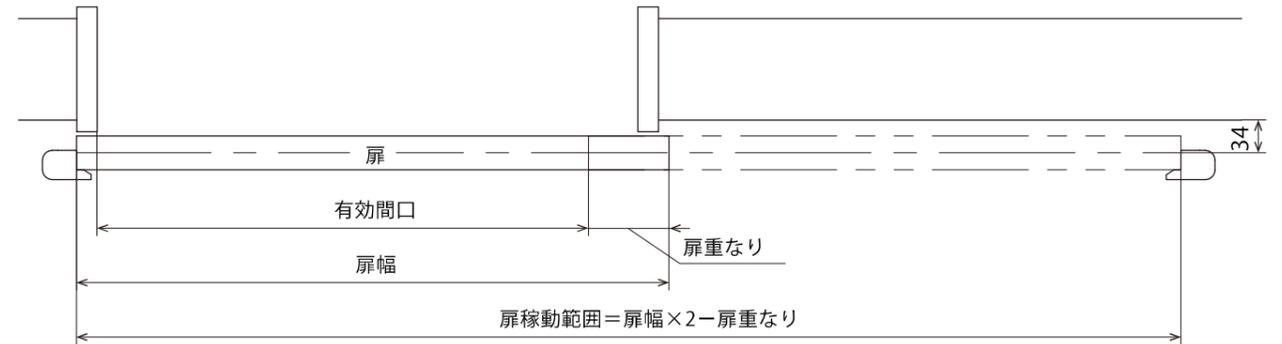
下ガイド取付用扉下部溝加工寸法



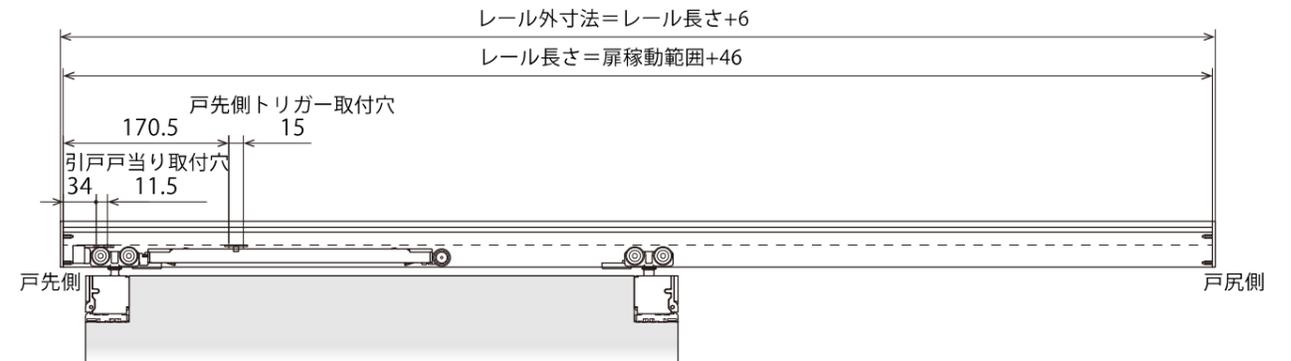
掘り込み加工は、必ず扉の厚みの中心基準で行ってください。

※扉の端から端まですべて加工してください。

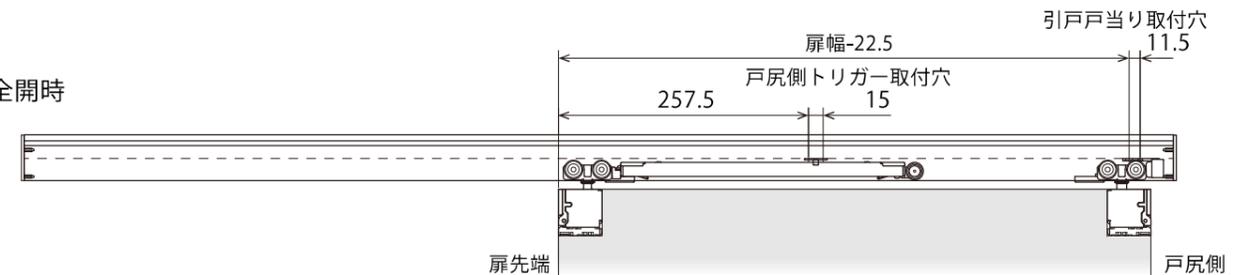
○金具類の納まり寸法



扉全閉時



扉全開時



トリガー位置、戸当り位置の寸法をお守りください。

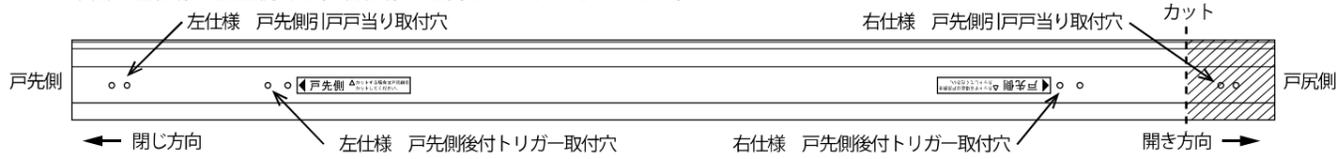
施工上の注意

施工作業前に本書をよくお読みいただき、正しく施工を行ってください。誤った施工は思わぬケガをする恐れがあります。本書の説明、注意事項をお守りください。
 本装置の施工後は本書をユーザーへお渡しいたいただき、大切に保管してください。
 本装置は改良等により予告なく寸法・形状・仕様が変わることがあります。詳細は現品にてご確認ください。

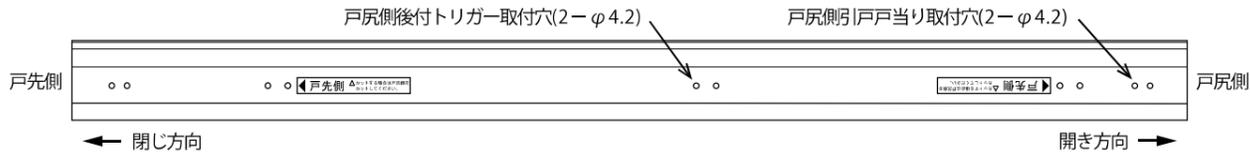
施工ガイド

1 レールの下穴加工

①左右兼用レールです。レールには予め右仕様、左仕様の戸先側後付トリガーと引戸戸当りの取付穴を加工済みです。レールの戸先側を確認し、P.2【金具類の納まり寸法】を参考にしてレールを必要な長さにカットします。
※下図は左仕様の加工例です。右仕様は逆側をカットしてください。



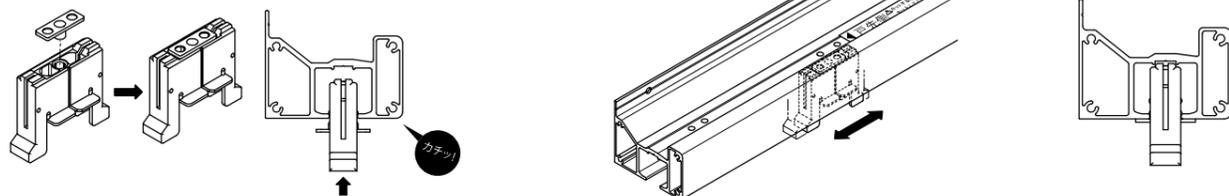
②P.2【金具類の納まり寸法】を参考にして、戸尻側後付トリガー取付穴、戸尻側引戸当りの取付穴(φ4.2)を加工します。
※トリガー位置、戸当り位置の寸法をお守りください。



③施工現場の躯体状況に合わせてレールの取付穴(φ4.2)を加工します。
※弊社推奨：端から30mm、300mmピッチ

レール穴加工後、レール滑走面をきれいにしてください。木くず等がレール滑走面や装置内部に付着すると、異音の発生や引込動作不良を起こし、扉が閉まらなくなります。施工後も含めてこまめにレール内を清掃してください。

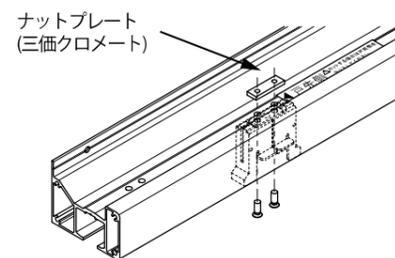
2 レールへの各部品の取付及び挿入



①戸先側の後付けトリガーを取り付けます。後付トリガーをトリガー取付治具にセットし、レール開口部に挿し込みます。
※トリガー取付治具の1段目の突起をカチッと音(または感触)がするまで挿し込んでください。

②トリガー取付治具をスライドさせて、レールの天面に空けられた取付穴と後付けトリガーの穴位置を合わせます。

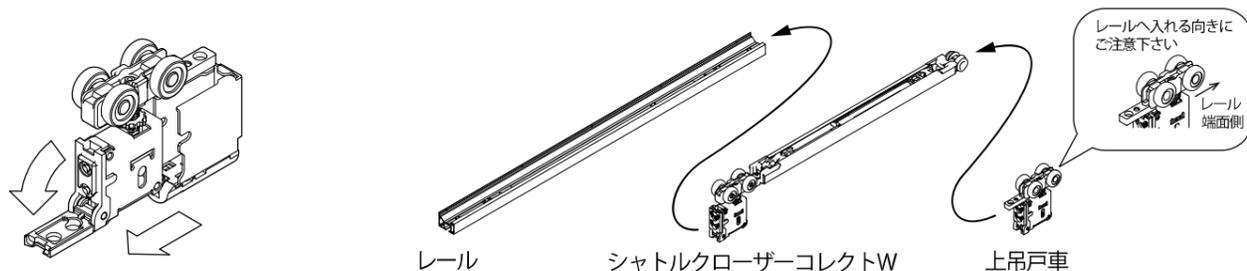
③トリガー取付治具のツバ部分がレールに当たるまで、さらに上まで挿し込みます。



④付属のネジとナットプレートでトリガーを固定します。

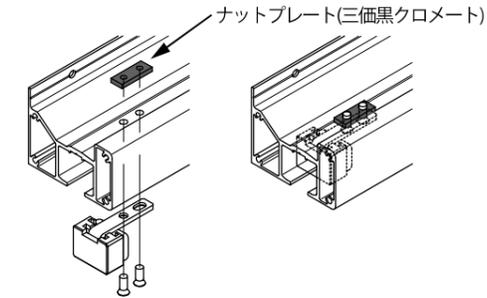
⑤ネジ固定が出来たらトリガー取付治具を引き抜きます。

後付トリガーの取付後、レール滑走面をきれいにしてください。木くず等がレール滑走面や装置内部に付着すると、異音の発生や引込動作不良を起こし、扉が閉まらなくなります。施工後も含めてこまめにレール内を清掃してください。



⑥上吊戸車からケーシングを取り外します。ローラー本体前面のレバーを指でつまみ、水平に倒してケーシングから引き抜いてください。

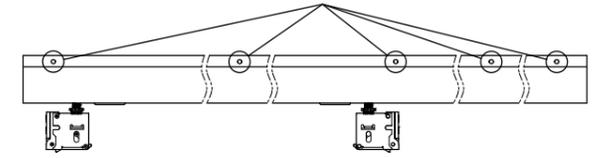
⑦戸先側に後付トリガーを取り付けたレールに、シャトルクローザーコレクトW→戸車の順に挿入し、戸尻側に後付トリガーを取り付けます。
※クローザー、戸車の向きにご注意ください。



⑧戸先側と戸尻側にアウトセット引戸戸当りを取り付けます。
※取付には付属のネジとナットプレート(三価黒クロメート)をご使用ください。
※緩まないようにしっかりとネジを締めてください。

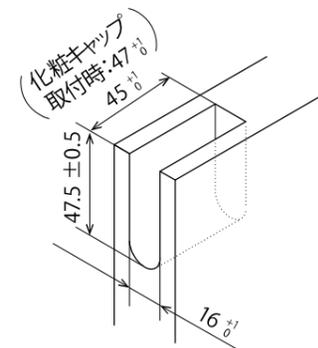
3 レールを壁に固定する

ネジ固定
※ネジの数量は、レールの長さによって異なります。

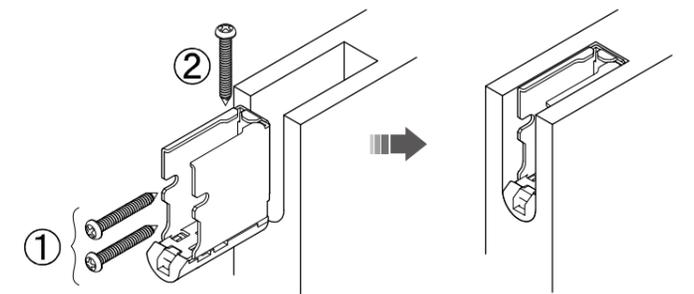


※取付には付属のネジをご使用ください。

4 扉の加工



①【扉の加工方法】を基に、扉の上部へ上吊戸車取付用のU字溝加工を行ってください。



②先程外したケーシングを加工したU字溝に上図の①→②の順に3本の付属ネジでケーシングを取り付けてください。

※ケーシングはU字溝に対し、しっかり奥まで差し込んでください。

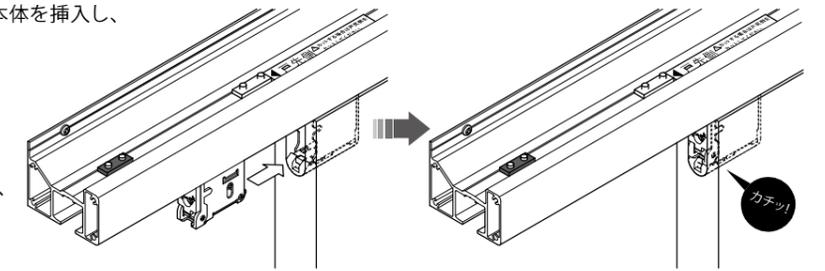
5 扉の吊り込み

【4 扉の加工】にてネジ止めたケーシングへローラー本体を挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

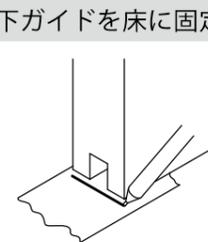
※「カチッ」と音がしない場合はケーシング取付ネジの浮きや切粉などの混入が考えられます。

扉を外す際は、扉を軽く持ち上げ、レバーを水平に倒し、戸車を引き抜いてください。

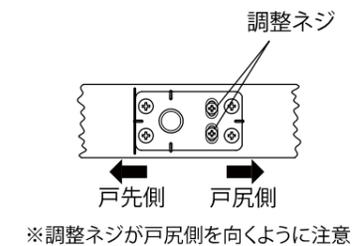
※レバーを水平以上に倒さないでください。



6 下ガイドを床に固定する

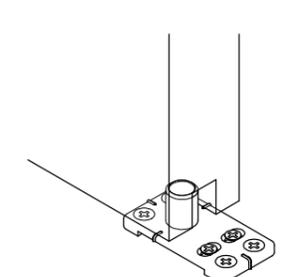


①養生テープを床に貼り、扉を全開にした(クローザーで引き込んだ)状態で、扉の戸先面に合わせて罫書きます。



※調整ネジが戸尻側を向くように注意

②罫書いた後、一旦扉を外し、下ガイドを図のように先程罫書いた線に合わせて付属のネジで固定します。

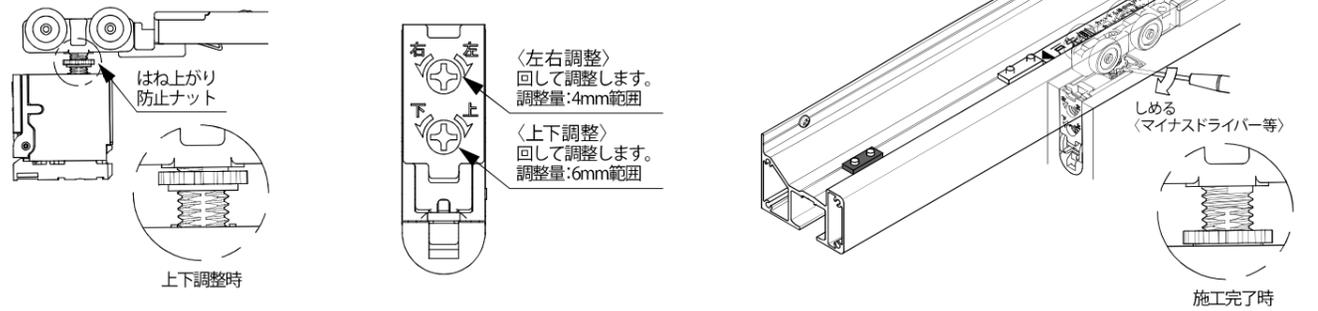


③再度、扉を吊り込み、軸を扉のセンターに調整してから、再び調整ネジを締めて固定します。

施工ガイド

7 扉の調整

扉の上下調整・左右調整は上吊戸車でを行います。

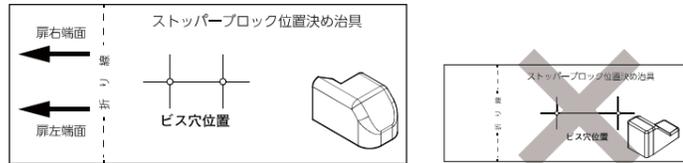


- ①はね上がり防止ナットをマイナスドライバー等を使用して、一番上まで上げます。
- ②戸車の調整ねじを回して、上下調整・左右調整を行います。
- ③調整後、はね上がり防止ナットをマイナスドライバー等を使用して一番下まで戻します。

※調整ねじは調整範囲以上回さないでください。
※電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

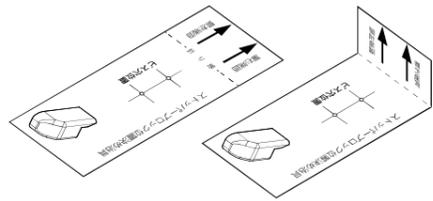
8 床の戸先側と戸尻側に下部ストッパーブロックを固定する

使用するストッパーのイラスト面を用います。

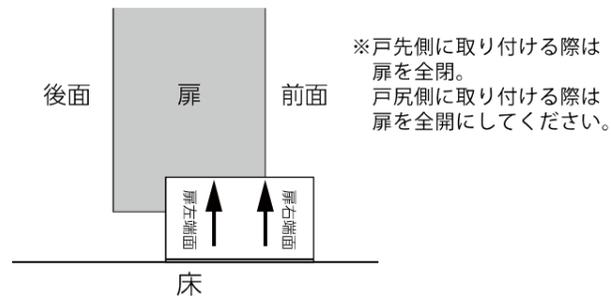


本施工説に用いる面

※この面は使用しません

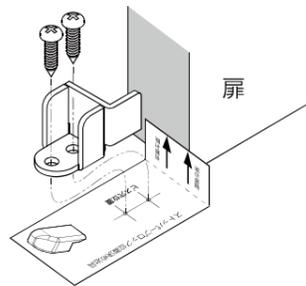


- ①位置決め治具を折り線に沿って折り曲げ、短面を扉の正面側に当てます。

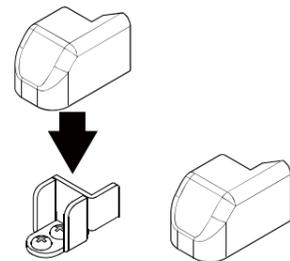


- ②扉の前面と矢印の位置を合わせます。

※戸先側に取り付ける際は扉を全閉。
戸尻側に取り付ける際は扉を全開にしてください。



- ③位置決め治具の円（ネジ穴と同ピッチ）に、ストッパー固定金具のネジ穴を重ね、ネジ固定します。
※下穴加工をお勧めします。



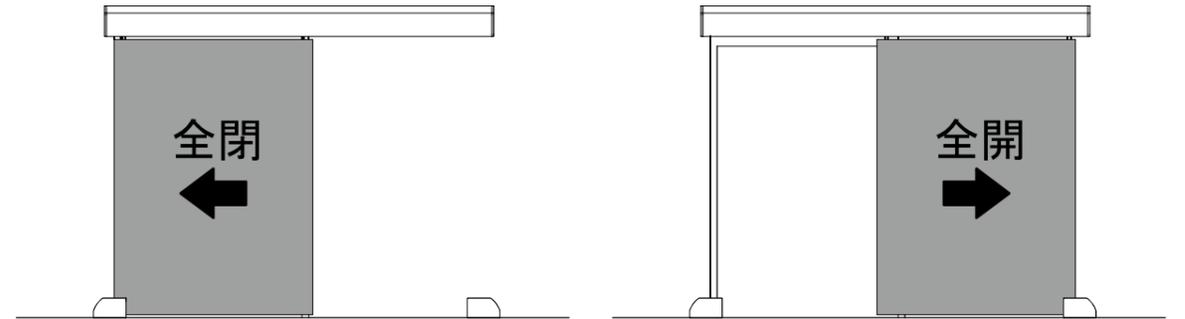
- ④固定金具にゴムカバーをかぶせます。



※位置決め治具は戸先・戸尻両側の施工を終えるまで捨てないでください。

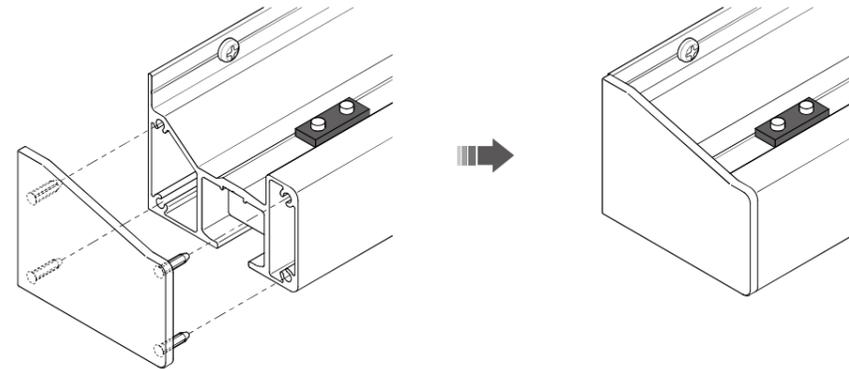
9 作動チェック

扉の全開・全閉をゆっくりと数回行ない、作動の確認を行ってください。



10 サイドキャップL・Rを取りつける

サイドキャップの突起とレール穴部を合わせてサイドキャップをレールに取りつけます。
※必ずクローザーが正常に作動することを確認してから取り付けてください。



施工完了です

